

公益財団法人 横浜市建築保全公社

当公社は、昭和61年に設立し、平成23年4月に公益財団法人に移行しました。今日に至るまで、修繕工事、調査・研究、普及啓発事業に取り組み、公共施設の修繕に関する専門機関として歩んできました。

小・中・高等学校、地区センター、福祉施設、病院など、市内約2,500ある公共施設の建築、電気設備、機械設備に関する修繕工事を実施し、年間の工事発注件数は約1,000件にのぼっています。

建築工事では、「水泳プール改修」や「屋上防水改修」、電気設備工事では、「照明器具改修」、「シャッター改修」、機械設備工事では「空調設備改修」、「給排水管改修」など、多岐にわたる修繕を実施し、市民の大切な財産である公共施設の長寿命化に取り組んでいます。

今日、施設の修繕に対するニーズが一層高まっており、工事の安全対策を十分に確保しながら、環境負荷低減を踏まえた修繕に取り組み、市民の安全性、利便性、快適性を向上させていきます。

修繕工事の一例

建築工事



水泳プール改修工事（上末吉小学校）

施工前



施工後

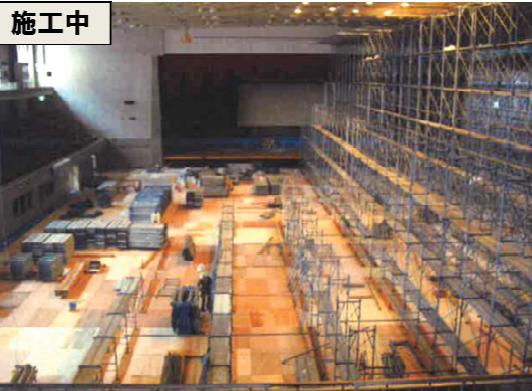


電気設備工事



屋内運動場照明改修工事
(横浜文化体育館)

施工中



施工後



体育馆に設置されている照明器具、操作盤等を更新する工事です。高所に設置されている器具を更新するため、移動式足場（ローリングタワー）や仮設足場を使用する必要があります。平成25年度に行った横浜文化体育館の照明改修工事では、ほぼ全面に仮設足場を設置しました。

機械設備工事



冷温水発生機等改修工事
(中央卸売市場南部市場管理棟)

施工中



施工後



空調設備の熱源である「冷温水発生機」を修繕する工事です。限られたスペースの中で大型部品の撤去、搬入も伴うため、施設運営や周辺設備への影響を与えないよう、養生も含めた慎重な施工が求められます。左側写真は既設の発生機を撤去した時のもの、右側は新設の発生機を設置したところです。